

# 基础日本語

下

董国民 谷肖梅 编著  
刘克华 王 云

植松信晴 主审

东南大学出版社

## 内 容 提 要

本套丛书系由东南大学外语系和日本语言教学专家精心编写的一套自学日语读本, 适合广大日语自学者, 日语初、中级人员以及在校学生作为外语教材选用。本书选材新颖, 语言优美、纯正, 语法繁简适中, 实用性强。本套丛书共分上、下两册, 上册相当于日本国际交际基金日语能力考试的3级水平, 下册相当于2级水平。本套丛书配有磁带。

### 图书在版编目(CIP)数据

基础日语. 下/董国民, 谷肖梅, 刘克华编著.  
—南京: 东南大学出版社, 2002.1  
ISBN 7-81050-860-1

I. 基... II. ①董...②谷...③刘... III. 日语 - 高等教育 - 教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 001282 号

责任编辑: 刘 坚

出版发行: 东南大学出版社

社 址: 南京市四牌楼 2 号 210096

E-mail : erbian @ seu.edu.cn

印 刷: 扬中市印刷厂印刷

开 本: 850mm×1168mm 1/32

印 张: 13

字 数: 337 千

版 次: 2002 年 2 月第 1 版 2002 年 2 月第 1 次印刷

印 数: 1—5000

定 价: 19.50 元

---

\*版权所有 侵权必究

\*东大版图书若有印装质量问题, 请直接向发行科调换, 电话 025-3792327。

# 前 言

世界从来没有变得像今天这样“小”。以全球化为背景的国与国之间、民族与民族之间的交际正在更深层次上，更广阔的领域内扩张。中国已经加入世贸组织，中国将承办 2008 年奥运会，鉴于此，中国和世界第二经济大国日本之间的政治、经济、文化交流也日益频繁，随之而起的必然是社会对日语人才的大量需求。可以说，仅靠有限几所大学的培养是远远不能满足这种需求的，社会上大量日语自学者的涌现正是在这一背景之下产生的。

自学日语显然和接受正规的学校教育有着很大的差别，因而自学者对选用教材也有着特殊的要求。遗憾的是，国内现行的很多教材大多有着这样那样的弊端，不太适合日语自学者使用。作为江苏省日语自学考试主考单位，我们每年都收到大量的信函，来信的考生和自学人员无不希望能有一套方便自学的教材。鉴于此，经过数年的酝酿，在东南大学出版社的大力协助下，我们编写了本套教材。本套教材共分《基础日本语》、《简明日语语法》、《日汉翻译教程》三种，其中《基础日本语》又分为上、下两册。

《基础日本语》（上、下）是在经过对东南大学等几所高校的二外、选修课进行试点使用，在课堂讲义基础之上，经多方研讨，由中外专家精心编写而成的。

为了体现“实用”、“易于自学”这一特色，同时又确保让读者学到标准、优美、纯正的现代日本语，本书在编写过程中贯彻了以下原则：

1. 选材“新”。语言是鲜活的，是不断发展变化的，随着现代社会的发展，不断有新的词汇和用语的出现，同时也有大量的

词汇被淘汰。本书所选素材均来自日本最新的各类出版物上，部分会话由日籍专家参与编写而成，因此本教材能确保读者学到最新的现代日语。

2. 实用性强。本书在编写时，尽量扩大选材范围，内容涉及各个领域，适合不同行业的自学者；本书既重视日常会话等内容的实用性，又注意保持高度的科学性，用词方面尽量选用出现频率高，使用范围广的词语，因此本书非常适合自学使用。

3. 语法解释繁、简适中，突出重点、难点。本书在编写时，吸取了不同版本教材的优点，充分考虑了自学者的特点，力求用简单通俗的语言解释复杂、难懂的词语用法及句型，力求避免晦涩难懂的术语。

4. 本书另一大特色是尽量做到了在词汇上、注音上的复现。根据记忆规律，本书每隔一定的篇幅就复现已经学习过的单词和注音，以帮助自学者较容易地掌握。

《基础日语》（上、下）的基本目标是帮助自学者及选修人员打下较为扎实的语音、语法、词汇基础，掌握基本的日语会话规律，积累一定的阅读量。为了方便自学，《基础日语》（上、下）配备了磁带。

本册书是《基础日语》的下册，共分 20 课，每一课均由课文、会话、句型和语法解释、练习、词汇表、课文参考译文 6 个部分构成。为了方便初学日语者自学，我们把词汇表分为词汇 I 和词汇 II 两个部分，其中词汇 I 为课文中出现的新词，词汇 II 为会话中出现的新词。

本书在编写过程中得到以下各位老师的支持和帮助：南京师范大学郭常义老师，安徽师范大学孙东旭老师，河南师范大学张文宏老师，南京农业大学成春有老师，南京中医药大学范玉荣老师，中国药科大学袁静文老师，南京医科大学平述梅老师，南京

气象学院刘慧旻老师。各位老师为本书编写提出了许多宝贵意见，在此谨向他们表示诚挚的谢意。

本书的编写和出版，自始至终得到了东南大学外语系和东南大学出版社领导的大力支持，在此一并向他们表示衷心的感谢。

由于编者才疏学浅，书中的错误和不妥之处在所难免，敬请广大读者和各位同行、专家不吝赐教。

编者

2002年1月

# 目 录

第1課	「ビール」.....1
	チグリス、ユーフラテス河畔に栄えた古代バビロニア
	～にはじまり、ついで～
	～といわれている / ～と書かれる / ～と考えられる
	/ ～と思われる
	歴史と伝統を誇る
	～から来たもの
	ちよつと意外な感じがしますね
	麦酒をたべ申候ところ、ことのほか悪しきものにて何
	のあじわいも御座なく候、名はヒイルと申候
	したがって
	正しかろうとしている
第2課	風呂.....17
	一日の仕事も無事済んで、...
	お風呂につかる/風呂に入る/湯に入る
	なんともいえない
	ご存じのように
	つまり
	焼石に水をかけて蒸し風呂にする
	朝鮮を経て伝わった
	形をとる
	～から、～ようになり、さらに…変化した
	これを室と呼んでいました
	ところが

	～とよく似ている	
<b>第3課</b>	「料理学校で」.....	32
	料理学校に通う	
	腕をみがく	
	畑の牛肉といわれるほど、豆腐はたんぱく質が豊富です	
	肉中心の食生活におかれて...	
	～ように思われる	
	では、なぜ...なのでしょう / だろう (か)	
	～だけでなく、～も～	
	～に対して	
	～を原料とする	
	どんなにたんぱく質が多いからと言っても、...	
	毎日豆腐ばかり食べていたのではあきてしまいます	
	～によつて、～工夫されている	
	思いもかけない	
<b>第4課</b>	豆腐.....	50
	どんな～ても	
	別に...ない	
	～から～を作る	
	主として、	
	のみ	
	～として	
<b>第5課</b>	ごまかす.....	63
	うっかり	
	口にしかける	
	ときには...こともある	
	やむを得ず	
	いかにもおいしそうだった	

いつのまにか  
…ものといえます  
護摩の灰なる  
…というわけです  
どんな…でも、…ば、…

化す

**第6課 建前と本音**.....78

建前と本音はちがうとはいうが、これほどとは  
…ふうに / ふうだ

「建前」というのは「…」から「…」などという  
意味になった言葉

そのもの  
…から…にかけて

さ

うえで

余すところなく

べき

**第7課 玄関**.....95

～でできた～

かつて

目を白黒させる

…には…

何やら…そうだ

そもそもの始まり

～をさす

…と並んで

西洋人には珍しい

…ておらず

…といえば、  
…に…が**集中**する  
**無用**の**長物**と化し  
…にまで**狭**められてしまった

**第8課 方言余語** .....112

「オチル**人**がシンでから、お乗り願います。」

**思**わずギョツとする  
よく**考**えてみますと  
…と…を**混同**する  
…を**知**っておれば  
なるほどとうなずける  
よく**問**題になる  
**悲鳴**をあげる  
…たところ  
ところが  
…ているうちに  
…に**関**わる

**第9課 正論と曲論** .....129

やってくる  
よろしゅうございます  
お**気**に**召**さなくて**残念**でした  
わけだ (…わけです)  
わけにはいかない (…わけにはまいりません)  
つごう  
いつたい、どちらの**言**い**分**が**正**しいのでしょうか  
…ことに**変**わりはない  
…ように**注**意する  
…とともに、…

…ねばならない

**第10課 自然と仲良く** .....146

…によると、…ことになっている

そのうち

…ぐらいだ

えさなどを

…ようにしておいた

…へ(に)目を遣る

顔を見合わせてにつこりする

だれひとり答えられなかった

知ろうとしない

感嘆終助詞 な

～かもしれない

～だけでなく、

それだけ

…がきつかけになる

**第11課 太陽が死ねば地球も死ぬ** .....164

～なしには / ～なしで

～てもしかたがない

ずっと以前

さらにいうなら

ちよつとした変化

～が明らかになる / ～を明らかにする

～による～

話題にのぼる

～に備える

～を身につける

**第12課** コンピュータ**社会**.....182

…お陰で、…

～とする

緑の窓口

そして

そんなに…ない

…いても、…いても、…

これは…からだ

**都市銀行**

どの銀行のどの支店でも

**以前**には**考**えうれなかつたことだ

だつて

…と**言**う、**困**つたことになる

**最**も

**弾**き**出**す

…くらいだ

…ようになる

**第13課** そば**屋**とあいさつ.....200

**注**文を**聞**く

しかたがない

きつねうどん

すると

**声**が**す**る

ところが

それで

はい、はい、**今**すぐ

それから

	やつと	
	なんだか	
	～べきではないか	
	ようだ	
	<b>感じが悪い</b>	
	時と場所によつて	
<b>第14課</b>	<b>本との巡り合い</b> .....	218
	～によつて	
	もしも～たら、...	
	別	
	～に限る (～に限り、～に限つて、～に限つた、～と限る)	
	～に巡り会う	
	目を未来に向けて開く	
	この時のこと	
	火をつける	
	人の顔が一人一人違うように、人の心も様々です	
	一人一人	
	～とは限らない	
	びつたり	
	～に約束する	
<b>第15課</b>	<b>日本人と魚</b> .....	236
	～と (に) 深い関わりを持っている	
	それぞれ	
	生活に欠かすことのできないもの	
	それだけ	
	鯿 (ブリ)	
	～に応じて	

～のは、～からだ / である  
寿司や刺身のように  
～にほかならない  
台所を預かる主婦の間でさえ  
原因の一つは…にある  
バックにする  
無駄がない  
～のほうがいいが  
手間を省く  
魚に対する主婦の関心や知識  
～という話がある  
まさか…ない  
笑うに笑えない  
この調子では  
～どころか、…  
区別がつかない  
…つつある  
まい

**第16課** 絵をかく楽しみ .....257

～ではなく、…  
およそ才能がなさすぎたから、…  
～わけだ  
形はつきりしたもの  
～に限った～  
～わけではない  
～と一致する～  
～とすると、…  
～に(も)通じる

<b>第17課</b>	たった一本でも .....273 …ては、… 百人で百本、千人で千本 きらり / きらきら …ばかりだ ～てたまるものか 積もりに積もる
<b>第18課</b>	<b>日本語と国際交流</b> .....289 なるほど ～ものの、… 三郎 ～に対して ありうる / ありえない ～としたら、… ～わけでも、～わけでもない 元になる ～以外のものではない ～ないでいる / ～ていない
<b>第19課</b>	<b>自然観の差異</b> .....315 である あることはある ～もあれば、～もある ～ことは確かだ ～を以て ～に重要な役割を果たした～ ～における～ ゆえに / がゆえに ～を明らかにする

	例えていうと	
	あるがまま	
	なり	
	～を前提にして	
	考えられず、…	
<b>第20課</b>	<b>現代科学と人間</b> ……………	336
	果たして	
	～かどうか、…	
	しばしば問題にされる	
	これに対して	
	<b>自信</b> を持って、	
	～ならいざしらず、…	
	とうてい…ない	
	そもそも	
	ゆく	
	～と同時に	
	ところ	
	～をはなれて	
	より	
<b>附录 I</b>	<b>练习参考答案</b> ……………	356
<b>附录 II</b>	<b>词汇总表</b> ……………	364

## 第1課 「ビール」

ビールの起源は大変古く、すでに紀元前四千年の昔、チグリス、ユーフラテス河畔<sup>1</sup>に栄えた古代バビロニア<sup>2</sup>にはじまり、次いでギリシヤ、ローマでも試みられたものだ<sup>3</sup>とされています。

現在では日本のビールも世界的に有名になりましたが、<sup>4</sup>歴史と伝統を誇るのはやはりドイツのビールでしょう。そのため、ビールという言葉はドイツ語のビール（Bier）<sup>5</sup>からきたものと考えられやすいのですが、実はこれはオランダ語のビール（bier）から来たものだと言われますから、ちよつと<sup>6</sup>意外な感じがしますね。

我が国へビールが入ったのは江戸中期と言われ、

オランダ人が江戸に入った時、その宿所長崎屋での食事の様を書いた『和蘭問答』には<sup>7</sup>「麦酒をたべ申候ところ、ことのほか恵しきものにて何のあじわいも御座なく候、名はヒイルと申候」と書かれてあり、<sup>8</sup>したがって、日本語化されたビールはオランダから入ったものと考えるのが正しかろう<sup>9</sup>としています。

ついでながら、近年流行のビヤガーデン (beer garden) という言葉や文明開化の明治時代から使われてきたビヤホール (beer hall) は英語をそのまま借用したもの、また生ビールを飲む容器のジョッキも、英語のジャック (jug) のなまりらしいと言われています。